

TL-1024UCL

接続可能な画像処理装置・画像入力ボード

FVC07CLB

サポートする機能

取り込みモード名称 (ファースト呼称)	対応カメラ機能名称	備 考
ノーマル（通常）入力	Internal Sync 動作	露光時間はシリアル通信による
トリガ入力	Ext Sync 動作	露光期間はソフトウェア設定（ライン周期）

各モード共通の設定

弊社ライブラリ製品に用意された通信用 API を使用して設定を行う必要があります。本説明とカメラメーカーが提供する取扱説明書および仕様書に記載された通信仕様を参考に設定を行ってください。

通信用 API の詳細についてはライブラリ製品の説明書・ヘルプ等を参照してください。

コマンド	設定項目	設定
ctrl	Ctrl 設定	「1:シリアル通信有効」に設定
bit	出力 bit 設定	「8:8bit 出力」に設定
expc	露光制御設定	「0:ライン周期」に設定

取り込みモードに依存する設定

○ ノーマル入力の場合

コマンド	設定項目	設定
sync	Sync 設定	「2:Internal Sync」に設定
expt	露光時間設定	10.24 μ S 単位で露光時間を設定（最小 0）
explt	露光時間設定	1 クロック (40nS) 単位で露光時間を設定（最小 1）

○ トリガ入力の場合

カメラ設定説明書

コマンド	設定項目	設定
sync	Sync 設定	「1:Ext Sync」に設定

留意事項

- “内部 SYNC 動作”時は常に「ライン周期露光」モードで動作します。露光時間設定によって取り込み周期が変化します。
- マニュアルに記載されていない事項として露光時間設定として expt の他に explt=N という項目があり、1 クロック（40nS 単位）で露光時間の設定が出来ます。（デフォルト値 37、最小値 1）
- カメラのモード設定はカメラリンク I/F を通して行われます。
- 設定指示のない項目は、工場出荷設定でご使用ください。

詳細な設定方法およびカメラ仕様につきましては、竹中システム機器株式会社より提供される取扱説明書および「ラインスキャンカメラ取り扱い説明書 型式 TL-1024UCL」を参照してください。